

市議会だより

1月緊急議会号



緊急議会の様子

1月
緊急
議会

新市長の所信表明に対する代表質問

目次

- ◎ 1月緊急議会の概要、日程、代表質問をした議員と項目など…………… 2ページ
- ◎ 代表質問…………… 3～5ページ
- ◎ 議員説明会、2月定例会議会の議会報告会の予定、あとがきなど…………… 6ページ



1月緊急議会の概要

四日市市議会は、1月緊急議会を1月13日から19日までの7日間の日程で行いました。
1月緊急議会では、森智広新市長の所信表明に対する代表質問を行いました。

1月緊急議会の日程

- 1 / 13 (金) 初日
新市長の所信表明、報告
- 18 (水) 代表質問
- 19 (木) 最終日
代表質問



代表質問をした議員と項目

(質問順)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 中森 慎二 (リベラル21) | ◆市長の所信表明に関連して |
| 豊田 政典 (新風創志会) | ◆市長の所信・市政運営方針について |
| 笹岡秀太郎 (政友クラブ) | ◆市長所信に関して |
| 加藤 清助 (日本共産党) | ◆市長の所信表明について |
| 小林 博次 (市民会議) | ◆市長の所信表明に関連して |
| 伊藤 修一 (公明党) | ◆市長の所信表明について |

本会議・委員会等を傍聴してみませんか

本会議、委員会等の会議を公開しています（ただし場合によっては非公開となることもあります）。皆さんが選んだ議員の活動や市政の方向等を知るためにも、ぜひ傍聴にお越しください。市役所11階東ロビーで受け付けしています。

代表質問から

代表質問は、市議会の各会派が新市長所信表明について考えをただすものです。その主な質問と答弁の内容をご紹介します。

質問等の詳細については、市議会ホームページに掲載しています「インターネット録画中継」または「会議録（平成29年4月ごろに公開予定）」をご覧ください。

子育て支援・産業振興

市民の期待を受けとめ一步踏み込んだ施策展開を



リベラル21
中森 慎二

議員 人口流出都市から脱却するため、子育てや教育に注力し、子ども医療費窓口無料化や食缶方式による中学校給食の導入、小・中学校の普通教室へのエアコン設置等に取り組むとのことだが、他都市との差別化を図るためにはもう一步踏み込んだ施策が必要ではないか。

産業振興において、企業ニーズをタイムリーに把握するため、企業と行政のトップ間での信頼関係や事務レベルでの連携を強化することだが、具体的な対応はどうか。また、地域経済の発展の観点から、地元でできることは地元企業にとのコンセプトのもと、入札制度改革を進めるとのことだが、市内に本店、支店を置かない企業には入札の機会を与えないのか。

新図書館を含む中心市街地拠点施設整備は、今後、幅広い市民の声を聴きながら慎重に判断をしていくとのことだが、展望はどうか。

市長 子育て世帯に選ばれるまちとなるため、所信で述べた施策の早期実現を図ることに傾注しつつ、次の展開については、挑戦する市役所

として既成概念にとらわれず、知恵を出し合いながら庁内一丸となって検討を進めていきたい。

企業の新規投資を引き出すことは容易ではないが、市内事業所だけでなく、本社へも積極的に訪問し、企業のトップと緊密な関係を築きたい。また、市長と職員がこれまで以上に意思疎通を図り、一致団結して企業への支援体制を充実していきたい。入札制度改革については、市外企業を完全に排除するのではなく、一定の競争性を確保しながら地元企業を優遇するような改革を行いたいと考えている。

現在、中心市街地拠点施設を市庁舎東側広場に整備する基本計画の策定に取り組んでいるが、原案ができた段階で議会に示すとともに、図書館の機能や内容についても、市民ニーズをしっかりと受け止められるよう幅広く意見を聞きたい。

議員 市長職の重みと市民の期待を真正面から受け止め、森市長の若さとパワー、そして、斬新な政治センスを持って四日市市のリーダーとして活躍することを期待する。

まちづくり

市長の目指す元気都市のまちづくりを問う



政友クラブ
笹岡秀太郎

議員 市長は、三重県を力強くけん引していく四日市市を創り上げることが大きな役割だと認識すると所信で述べているが、本市が独り勝ちを考えているのでは、四日市ブランドの品格や風格が問われる。近隣の市町から敬愛されてこそ役割が担えると認識するが、三重県や他市町との連携、広域的な発展の中での本市の在り方をどう考えているのか。また、コンビナートで生成される水素に着目した事業については、環境省の公募している実証実験のメニューに参加していくのか、本市独自の視点で施策展開をしていくのか、今後の取り組みはどうか。また、四日市港を活用した大型客船の誘致について、港湾計画では四日市地区に客船バースの整備が描かれているがその視点はあるのか。そして、今後はどのように国や四日市港客船誘致協議会等の関係機関と連携して誘致を進めていくのか。

市長 これまで三重郡3町や北勢5市5町からなる協議の場を組織し広域連携の促進を図っているが、一方で本市は圏域全体をけん引する

立場でもあり、本市が元気であることが近隣市町や三重県全体を元気にすることであると考え、周囲から頼りにされる活力と先進性を備えた力強い都市として発展を図っていきたい。また、本市の水素に関する取り組みは、石油化学コンビナートを中心に発展してきた本市の特性を踏まえ、コンビナートの先進化という独自の観点から、国に対しても新たな提案ができるような取り組みを進めていきたい。また、千歳町の旅客船埠頭計画については、その前提となる埋め立ての具体的な着手時期などは定まっておらず、現段階においては、震地区における旅客船誘致について、四日市港管理組合や県等と緊密に連携しながら検討を進めるべきものと考えている。加えて、国や関係団体等の窓口を有効に活用しつつ、本市としても四日市港管理組合や県とともに、四日市港客船誘致協議会の取り組みを全面的にバックアップしていきたい。

議員 本市独自の考え方を持った施策の実施とまちづくりの取り組みに期待する。

都市政策

都市イメージを転換し住みたいまち四日市を目指せ



新風創志会
豊田 政典

議員 前市長の市政8年間を振り返ると、財政健全化に始まり、四日市あすなろう鉄道の開設や四日市公害と環境未来館の開館など、いくつかの大きな功績があったと考える。現時点で、前市長の実績に勝るような事業や政策はあるのか、また、オンリー四日市ともいえるようなオリジナルの事業を考えているのか。また、市長は、子育て・教育の四日市のPRや広報戦略においてもマーケティング部署新設など、四日市のブランド力向上を目指しているが、全国的にみると本市の認知度は比較的高いものの、観光や居住への意欲度は低いというデータもある。今後、本市の都市イメージをどのように転換していくのか。そして、子育てや教育をメインの政策とするのであれば、教職員の声を聴く仕組みも必要と考えるがどうか。

次に、現在、本市最大の問題として人口減少都市になっていることがある。今後、自治体間の人口争奪戦を勝ち抜いたのち、人口目標をいつの時点で何万人として実現していくのか。

市長 子ども医療費窓口負担ゼロや食缶方式による中学校給食の実現など、子育てするなら四日市、教育するなら四日市という都市イメージの定着に向けた取り組みを目玉として、子育て、教育の施策を充実させていきたい。産業都

市や公害のまちという都市イメージからの転換を図り、元気なまち四日市を創りあげていくためには、本市の魅力を発信することが重要であり、今後もシティプロモーションに積極的に取り組んでいく。そして、実際に小・中学校を訪問し、子どもたちや授業の様子を参観し、教職員から直接話を聴いていきたい。また、小・中学校長会議への出席も予定しており、校長会議等を活用し意見交換ができるよう検討していく。

次に人口目標については、平成27年度に策定された本市の地方創生総合戦略において、2060年の人口目標を28万人と設定している。少子化に伴った人口の自然減は避けられない部分もあるが、本市の魅力や競争力を高め、社会増減を増加基調に変えていきたい。



自治体間競争に負けない都市イメージへの転換を望む

中心市街地活性化

活気ある四日市を目指し着実に施策を実施せよ



市民会議
小林 博次

議員 市長は中心市街地活性化について、立地適正化計画(※)を策定し、民間資本の投資を誘発する取り組みを強化していくと所信表明で述べているが、四日市市中心市街地活性化基本計画と立地適正化計画を融合させるには、JR四日市駅の立体化と駅舎改築の問題がある。現在、JR四日市駅は旅客よりも貨物の取り扱いが多くなっており、かつての賑わいを取り戻すには、中部国際空港を利用する東南アジア各国からの離着陸が今後も増加する傾向にあることを踏まえ、海上アクセスをもう一度民間の力でよみがえらせ、JR四日市駅の建て替えや中央通りを四日市港まで接続し、ホテルや施設などを誘致することで、従来とは違う活気を取り戻せる条件をもった街へ生まれ変わると考える。

また、市役所東側に建設が計画されている新図書館については、建設場所が変更になれば建設が大幅に遅れることとなる。図書館は市民の成長のためにも必要な施設であるため、確実に進めていくことが必要と考えるがどうか。

市長 本市は、JR四日市駅前広場の整備を検討しており、民間の開発構想についても今後担当部局において関係者と意見交換をしていきたい。民間活力の導入には、JR四日市駅前広場整備の都市計画の変更等様々な課題もあるが、まちの活性化に向けて実現の可能性を探っていく。JR四日市駅については、引き続き必要な対策をJR東海に働きかけていきたい。

新図書館の整備については、現在、中心市街地拠点施設整備基本計画策定委員会を設置し、多様な観点から議論を行い取り組んでいる。中心市街地拠点施設は、まちの賑わいの創出など、中心市街地活性化の起爆剤ともなり得る施設と認識しており、幅広く市民意見を聴きながら計画を進める。その上で、従来のスケジュールにこだわることなく、新図書館の構想について慎重に判断する。人口減少社会において、交流人口を増やしていくことは極めて重要であり、その拠点として中心市街地を活性化させていくことが必要であると考えます。

※ 人口減少、高齢化を背景として、福祉や交通などを含めて、行政と住民や民間事業者が一体となったまちづくりを促進する計画

中学校給食・事業所税

市長の所信表明および政策集について問う



日本共産党
加藤 清助

議員 中学校給食について、平成29年度から2カ年で基本構想・基本計画を策定することのだが、実施目途はいつか。また、学校給食費については、全国いくつかの自治体で無償化や一部補助を実施しており、実施自治体は拡大している。本市の考え方はどうか。

本市では、平成22年8月から事業所税を課税するとともに、中小事業者等に対して四日市市税条例の特例に関する条例により減免措置を講じ、平成25年には追加で減免拡充および期間延長を行ってきたが、平成29年7月末をもって減免期間が終了する。有識者の間では、減免措置の再延長は法的に不可能であると解されているが、市長の政策集では、事業所税の実質的な減免措置を行うとしている。対応はどうか。

市長 中学校給食庁内基本構想策定委員会を立ち上げ、中学校給食についての基本的な考え方や課題の整理を行うなど具体的な取り組みを既に始めており、できるだけ早く食缶方式による中学校給食を実施していきたいと考えている。なお、今後の見通しについては、基本構想・基本計画を策定した上で、平成30年度中に示したい。また、学校給食の無償化については、実施した場合に小・中学校合わせて保護者負担分の年間約12億4千万円が経費として必要になるこ

とから、他の教育環境整備等にかかる経費とも考え合わせると、実施は難しいと考える。

事業所税の減免措置を新たに拡大、延長することは、公益性や税負担の公平性の観点など地方税法上の適正な課税という視点に照らして難しいと認識している。したがって、地方分権が進められる中、各自治体の事情に即した課税ができるよう、課税自主権について国の税制改正の議論に際して働きかけていきたいと考えている。また、他自治体においては、企業の新たな設備投資にかかる事業所税相当額を奨励金として交付しているなどの事例もあり、本市の産業振興施策の中で検討していきたいと考えている。

議員 市政運営のトップとして、持ち前の元氣、パワーを発揮して活躍することを期待する。



給食センターでの調理の様子（鈴鹿市学校給食センター）

子育て・教育

市長の「子育て、教育するなら四日市」を問う



公明党
伊藤 修一

議員 市長は所信表明で、「子育てするなら四日市」と「教育するなら四日市」の構築に、子育て世代の当事者である市長が前面に立つとされたが、本市は県下で最も多くの保育所待機児童を抱えている。平成30年度には中部と南部で私立保育所が開設予定だが、私立保育所に頼らず公立保育所の役割や保育士の処遇などでも、緊急かつ具体的な方策を示すべきではないか。

市長 公立保育園においてさらなる受け入れができるよう、深刻となっている保育士不足を解消するため、臨時職員の待遇改善を行い必要な保育士を確保したい。平成30年度に北部で保育提供枠の不足が想定されており、認可保育所の平成31年度の開園を目指していく。

議員 本市では、全国平均を上回る不登校の児童生徒数が報告されている。不登校の要因でもある発達障害の二次障害、家庭の貧困などに対応するスクールソーシャルワーカーや発達障害を支援する特別支援教育支援員などによるきめ細かなサポート体制を整備すべきではないか。

市長 不登校の児童生徒の支援として、教育委員会からスクールソーシャルワーカーの活用が有効であるとの報告があり、通常の学級で発達障害をサポートする特別支援教育支援員の配置による支援体制の整備は、不登校対策として欠かすことができない。不登校や発達障害の児童生徒に対する初期対応を含めて、きめ細やかなサポート体制の充実に取り組んでいく。

議員 増え続ける児童虐待に対して、国は中核市に児童相談所の設置を進めており、来年度より5年を目途に必要な支援が行われる。市長の所信表明では、本市の中核市移行は必要だとされたが、本市独自の児童相談所の設置準備や専門職員の育成などに着手すべきではないか。

市長 児童虐待は増加を続け、本市の対応件数は、平成23年度の13,023件が平成27年度は22,941件となり、約76%伸びている。児童相談所は中核市移行で設置可能となり、中核市48市で金沢市と横須賀市が設置している。児童虐待には、こども未来部の体制強化を図っていく。

議員説明会を開催

1月25日に四日市市総合計画第3次推進計画（平成29～32年度）および組織・機構の見直しについて、行政側から説明を受けました。それらに対して、議員からは多くの質疑や意見が出されました。

市議会ホームページについて

市議会では、市議会ホームページにおいて本会議や代表質問・一般質問の会議録、議案や議決結果、文書質問の質問書と答弁書、議会日程、議会報告会などを掲載していますので、ぜひご覧ください。

ホームページのアドレス

<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>

市議会文化祭を開催しています

2月10日から3月24日（土・日曜日、祝日を除く）まで市役所10階のラウンジで絵画や書、陶芸などの議員創作作品の展示を行っています。ぜひお越しください。



2月定例会議会の議会報告会の予定

2月定例会議会の議会報告会を3月28日、29日に開催します（詳細は下記参照）。事前のお申し込みは不要ですので、参加を希望する会場にどうぞお気軽にお越しください。

※頂戴するご意見は、口頭によるものを基本とします。

第1部：議会報告会		第2部：シティ・ミーティング（意見交換会）		
日時	平成29年3月28日(火)		平成29年3月29日(水)	
	18:30～20:45		18:30～20:45	
常任委員会	教育民生	産業生活	総務	都市・環境
会場	あさけプラザ 2階第4・5会議室	橋北交流会館 3階第6会議室	総合会館 7階第1研修室	塩浜地区市民センター 2階大会議室
	下之宮町296-1	東新町26-32	諏訪町2-2	塩浜本町一丁目1-2
シティ・ミーティング テーマ	○教育行政全般 について	○商工業の振興 について	○防災全般について	○運転免許自主返納と高齢 社会における公共交通の あり方について

※ 全会場、手話通訳いたします（事前予約は不要です）。

※ 天候等により中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※ 進行状況によっては、記載された予定時刻よりも早く終わる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。

※ 総務常任委員会（総合会館）に参加ご希望で、お車で越しになる方は、市営中央駐車場に駐車してください。

あとがき

今後の編集の参考とするため、「よっかいち市議会だより」をご覧になったご意見、ご感想などをお寄せください。

広報広聴委員会（◎委員長 ○副委員長）

◎川村 幸康 ○早川 新平 荒木 美幸 荻須 智之
土井 数馬 豊田 祥司 森 康哲 森川 慎

ご意見・ご感想などのあて先

〒510-8601 四日市市議会事務局

Tel 059-354-8340 Fax 059-354-8304

【Eメールアドレス】 shigikai@city.yokkaichi.mie.jp

【ホームページ】 <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/gikai/>